



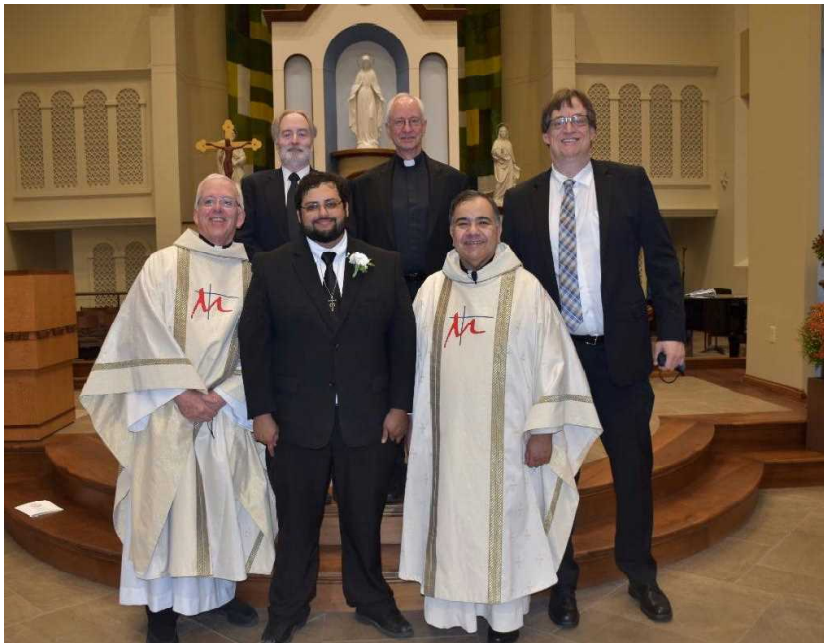
Via Latina 22

2021年11月 304号

総本部よりのお知らせーマリア会

Justin Quiroz 士, SM (US), 終生誓願を宣立

2021年10月2日、土曜日、Justin Quiroz士がオハイオ州デイトン大学キャンパスにある「無原罪の聖母」聖堂にて終生誓願を宣立しました。Justin士は2016年5月、初誓願を立てました。彼は現在デイトンのチェンバース・ストリート共同体に所属しています。



誓願式後のJustin Quiroz士 米国管区長評議員の数名に囲まれて

マリア会USA管区、管区長Oscar Vasquez師がミサを司式し、彼の誓願を受け入れました。霊生部長、Tim Kenney師が共同司式を行い、そしてNeville O'Donohue 師も共同司式に加わり、説教を行いました。有期誓願者の責任者のCharles Johnson士が修道誓願宣立の儀式に向けてJustin士を紹介しました。Bob Jones師が式典長を勤めました。

パンデミックによる安全対策として出席するゲストの数を制限しました。しかしながら、幸いにも、マリア会、FMI、デイトン大学の共同体、そしてまたJustinの家族、友人たち大勢がこの喜びの式典

に加わることが出来ました。誓願式はライブで配信され世界中のマリアニストメンバーと友人たちがバーチャルでこの誓願式に参列できました。

私たちはJustinと彼の管区にお祝いを申し上げ、兄弟的祈りを約束します。

韓国地区, Minyoung Michael Ki, SM の叙階式

Minyoung Michael Ki が2021年10月9日、韓国インチョンのサンゴクマリアニスト小教区にてマリアニスト司祭として叙階されました。インチョン教区のShinchul John Baptist Jeong司教が叙階式を執り行いました。ミニョン師はローマのシャミナード国際神学校で最近勉強を終えて、2021年7月に韓国地区に戻っていました。



Minyoung Michael Ki師 Shinchul John-Baptist Jeong司教と
韓国地区の数名の会員に囲まれて

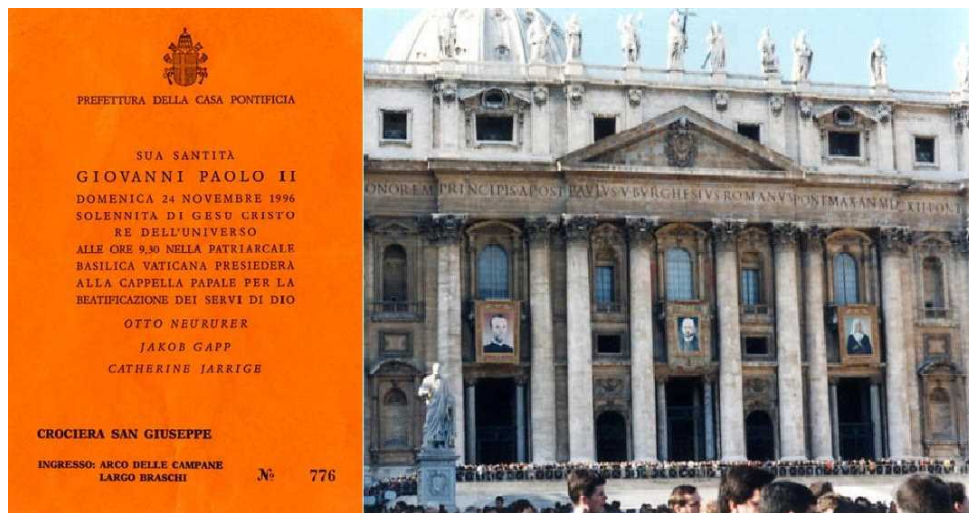
彼の家族メンバー、マリアニスト家族メンバー、そして他の友人たちがこの叙階式に出席しました。残念ながら、Covid状況のため、地区本部共同体の大部分のメンバーは隔離の理由でこれに列席出来ませんでした。それでも、ミニョン師がマリア会での司祭職への召命を受諾し、共同体の必要事と、共同体メンバーと共に宣教の必要事に奉仕する決意を表明したので、この日は感謝と聖霊の息吹に満たされた一日でした。

ミニョンと彼の地区にお祝いを申し上げ、私たちの兄弟的祈りを約束します。

Jakob Gappの列福25周年記念

1996年11月24日（日）～ 2021年11月24日（水）

この11月24日に、私たちは教皇ヨハネ・パウロ2世によって列福された私たちの仲間のオーストリア人Jakob Gappの列福25周年を祝います。彼はシウダー・レアルの3名の殉教者の後、4番目のマリアニスト福者となりました。これはマリア会と全マリアニスト家族に与えられた特別な賜ものです。



福者Jakobは20世紀の偉大な人物です。彼の勇気と自由の擁護に関する証言は今でも私たちを感動させ、また大きな意義を保っています。Jakobは真実を曖昧にしたくなかった故に死んだのです。歴史のその時期に、アドルフ・ヒトラーと彼の追随者たちは国家社会主義を広めていました。何の躊躇もなく、Jakobは国家社会主義を福音書に反し、人類と教会にとって危険な学説であると公然と非難しました。国際紛争や社会的・文化的大変動によって特徴づけられる非常に複雑な時期に、彼は常に福音と信仰を第一とする良心の啓発者でした。彼のメッセージに対してなされた数多くの言及は、その言及のいくつかはマリアニストの世界を越えてなされていますが、このことを証明しています。

この25周年記念にあたり、彼の属していたヴァッテンズ(チロル)小教区は、盛大な式典を計画してきました。総本部もまたEmilio Cardenas師の責任の下、3か国語で彼の文書の出版を準備しています。この出版は2022年に行われるでしょう。共同体において、またマリアニスト家族として、特に11月24日、彼の誕生日に、福者Jakobを私たちに贈物としてくださったことに感謝しましょう。そしてまた、私たちはこの同じ日にベトナムの殉教者を記念し、感謝を捧げます。

福者Jakobの人格において神が私たちに与えてくださった大きな賜ものに感謝しましょう。現在の複雑な状況において私たちを照らしてくださるよう福者Jakobにお願いしましょう。私たちの意向を彼に委ね、他の人たちもそうするよう勧めましょう。そうすることで彼の列聖によって彼のメッセージがさらに広めることになるでしょう。

シャミナード国際神学校の新学年

毎年、新たなメンバーがシャミナード国際神学校の共同体に加わります。2021-2022新学年のこの共同体メンバーである神学生たちをここに紹介します。パンデミックの状況により、共同体は9月末

まで十分な体制を作れませんでした。しかしそれ以降、共同体は通常通り機能しています。この養成共同体とそのマリア会への奉仕のために祈ってくださるよう、全ての会員たちをお願いします。



左より：院長のMiguel Ángel Cortés, (スペイン); Peter Kulandai (インド);
Frantzy Perier (ハイチ, フランス管区); José Luis González (メキシコ);
副院長のFrédéric Bini, (トーゴ); George Majhi (インド);
Messi Loubiya (コンゴ-ブラザヴィル); Showraiah Ravulapalli (インド);
Anselme Agbessi (トーゴ).

福者マリー・ド・ラ・コンセプション・ド・バッツ に関する小勅書



教皇の認印を押した小勅書を手にもつ
汚れなきマリア修道会の総長と評議員

10月4日、月曜日、FMI総長メール・フランカ・ゾンタとメール・マリー・ド・ラ・コンセプション・ド・バッツの列聖請願者アントニオ・ガスコン師は、バチカン市国事務局内でPaolo Rizzi枢機卿の手からメール・アデルの列福に関する小勅書を拝受しました。以前に教皇フランシスコはアジャンのHubert Herbreteau司教宛て2018年6月1日付教皇書簡で、この新しい福者の列福式を執り行う許可をくださいました。列福式は2018年6月10日に行われました。

この小勅書をもって、教皇はその使徒的権限でメール・マリー・ド・ラ・コンセプション・ド・パッツの福者の身分を確認し決定しました。教皇はこの小勅書に自分の個人的印章（使徒聖ペトロが、小舟で網を引く漁師として表現されている）でサインし、それにバチカン市国、国務省長官Pietro Parolin枢機卿のカウンターサインが記されています。この小勅書は10ページの内容が羊皮紙上に手書きされた見事な歴史的書籍の形をしており、この小勅書を貴重な文書的、材料的価値のある素敵なものとする繊細な装丁が施されています。

“ともに歩む教会”に関する世界代表者会議が進行中 皆参加しましょう！

共に歩む教会に関する司教会議が10月の9日（土）と10日（日）にバチカン市国で開始しました。それは教皇フランシスコが司式した式典、祈りそして荘厳ミサの機会となりました。これに続く10月17日（日）には世界中の全司教区はこの開始を地域的に祝いました。

今、私たちは、この司教会議の準備文書と世界中の教区で開始されるあらゆる考察の機会の助けを借りて、神の民に意見を求める段階に在ります。それは教会にとって重要な刷新の機会であり、結果的に、教会はますます“共に歩む教会、耳を傾ける教会、身近に感じられる教会”となるのです。

（教皇フランシスコ、10月9日）



修道者として、マリアニスト家族として、これに参加するよう私たちに提供されているあらゆる機会に気を配るようにしましょう。さらに良いことは、私たち自身でこれらの機会を作ることです。これは私たちと他の人たちにとって重要なことです。私たちは自分の富を惜しみなく分かち与え、また他者の富から受け取る必要があります。共に歩みましょう；これがシノドスという言葉の文字どおりの意味です。

この過程の間、教皇フランシスコと共に次のように聖霊に祈りましょう（9/10/2021）：

「聖霊よ、来てください。あなたは新しい言葉呼び起こし、私たちの唇に生命の言葉を乗せてくださいます；偉大な過去を持つが未来には期待できず、美しくはあるが沈黙した“博物館的教会”となることから私たちを守ってください。私たちの中に来てください、そうすれば、この共に歩む経験において、私たちが熱意を失うことなく、預言の力を弱めることなく、あるいは、無益で非生産的な討議に陥ることはないでしょう。愛なる聖霊よ、来てください。あなたの声を聴くよう私たちの心を開いてください！聖なる聖霊よ、来てください。聖なる忠実な神の民を新たにしてください！創造主である聖霊よ、来てください。地の面を新たにしてください！アーメン」

更なる情報のため、また皆さんの言語で司教会議の準備文書を読むためには、次をクリックしてください。

<https://www.synod.va/en/news/preparatory-document.html> (英語)

世界的な教育協定



マリア会の幾つかのゾーンと行政単位は、個人的な献身を通して教育協定を作りあげるようにとの教皇フランシスコの全ての人への呼びかけに応えてきました。徐々に、率先した行動が出始めており、様々な場でそれが現れています。何が行われているかを皆さんと分かち合うのを嬉しく思います。終わりに、この世界的な教育協定のプロジェクトに設けられている私たちの [website](#) (英語)の特別なセクションを検索するようお勧めします。

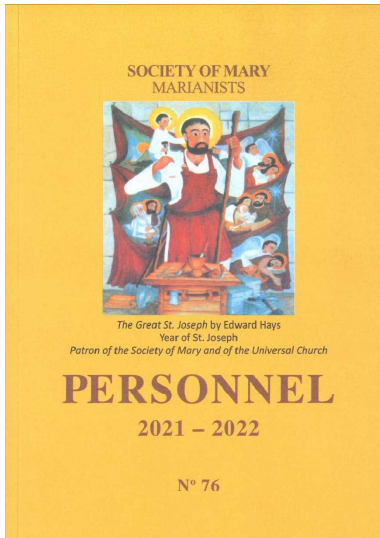
ラウダート・シーの活動綱領

教皇フランシスコは私たちに「エコロジカルな回心」を呼びかけていますが、「この回心によって、私たちのイエス・キリストとの出会いの効果は、私たちを取巻く世界との関係において明らかになります」。 (LS 217)



皆さんはラウダート・シーの活動綱領による世界規模の活動に参加するよう勧められています。全ての人がある何か出来ることがあります。更なる情報のために、[ここをクリックしてください。](#) (英語)

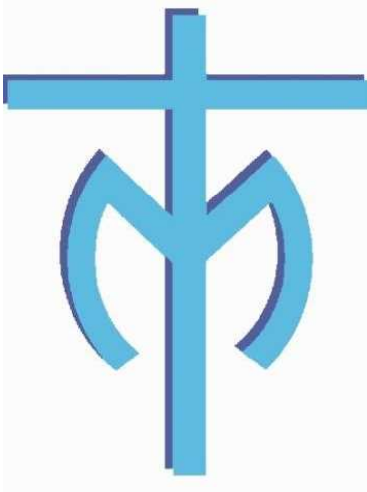
2021年-2022年の国際名簿が間もなく届きます



今年度版、国際名簿が印刷され全行政単位の本部に送付されました。実際の名簿到着は各地の郵便と配達事情によります。パンデミックによる事態の複雑さが長期に遅れの要因とならないように、そして間もなく届くよう願っています。

これら名簿が行政単位本部に届いたら、いつもの様に内部に配布してください。

世界の全ての貧困者と一致して



「主よ、自分だけを愛するのではなく、自分にとって大切な人だけを愛するのではなく、私たちが愛してくれる人だけを愛するのでないことを教えてください。

他の人のことを思いやること、また、特に誰からも愛されない人たちを愛することを教えてください。主よ、私たちが他の人たちの苦しみに共感する者とならせてください。

今この瞬間に、飢えて死ななくていいのに死に、寒さで死ななくていいのに死ぬ人が数多くいることを理解する恵みを私たちにお与えください。

主よ、世界の全ての貧しい人々を憐れんでください、そして私たちが彼らを見捨ててきたことをお赦してください。

主よ、これからは、私たちが自分だけで幸せであることがないようにしてください。私たちに世界の悲惨さの痛みを感じさせ、私たちを自己中心から解放してください、アーメン。」

Raoul Follereau (1903-1977)

最近の総本部通信

- 計報：22-26号
- 9月27日：世界的教育協定、3か国語にて教育局長Maximin Magnan士から全教育補佐に送付
- 10月6日：マドレーヌ聖堂の現在と将来、総長André-Joseph Fétis師士から3か国語にて全行政単位責任者、霊生部長、そしてマリアニスト研究センター所長宛送付

総本部の日程

- 11月11-13日：イタリア、ローマのマリアニスト家族世界評議会会議開催
- 11月24-26日：総長André-Joseph Fétis師がイタリア、ローマでのUSG（総長連合）の会議に参加

メールアドレスの変更

André Brissinger士(FR): andre.brissinger1930@gmail.com